

岡山県感染症週報 2012 年 第 38 週 (9 月 17 日～9 月 23 日)

【お知らせ】2012 年 9 月 24 日～30 日は『結核予防週間』です。

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症警報』発令中です。

◆2012 年 第 38 週 (9/17～9/23) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 36 週	2 類感染症	結核 4 名 (幼児 男 1 名、20 代 男 1 名、80 代 女 1 名、90 代 女 1 名)
	4 類感染症	レジオネラ症 1 名 (60 代 女)
第 37 週	2 類感染症	結核 5 名 (60 代 男 1 名・女 1 名、70 代 男 2 名、80 代 男 1 名)
第 38 週	3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 4 名 (O157 : 幼児 女 2 名、児童 男 1 名、30 代 男 1 名)
	5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 名 (60 代 男)

■定点把握感染症の発生状況

○RS ウイルス感染症は、前週と同数でした。

【第 39 週 速報】

○高梁市の幼稚園でヘルパンギーナによる学校閉鎖がありました。(9 月 25 日)

○備前保健所管内の高等学校で、結核の集団感染がありました。(9 月 27 日 岡山県報道発表)

1. 9 月 24 日～30 日は『結核予防週間』です。

～ 胸に空洞! ? 失恋ですか? -いいえ、結核です。～

我が国では、9 月 24 日～30 日を「結核予防週間」とし、結核を知り、正しい知識を深める期間としています。我が国では、結核は過去の病気ではなく、いまだ年間 2 万 2 千人を超える新登録患者が発生しており、結核は依然として重要な感染症です。

岡山県では平成 23 年の 1 年間で 311 人の新登録患者が届出されており、結核予防意識の一層の普及を図るため、街頭キャンペーンや各保健所・市町村で普及啓発活動を行っています。

[【岡山県からのお知らせ 平成 24 年度結核予防週間における行事等について】](#)

- 腸管出血性大腸菌感染症**は、第 38 週は 4 名の散発事例が発生し、2012 年の第 1～38 週までの累計報告数は 146 名になりました。岡山県は「**腸管出血性大腸菌感染症警報**」を県下全域に発令し、より一層の注意を呼びかけています。現在岡山県では、第 30 週から第 38 週まで 9 週連続で患者が発生しています。今後もひきつづき予防対策を行うことが重要です。症状や予防法など、詳しくは岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症警報 発令中!](#)』をご覧ください。
- RSウイルス感染症**の定点あたり患者数は、前週と同数でした (定点あたり 0.46 → 0.46 人)。調査が始まった 2004 年以降の同時期と比較し、最も多い報告数で推移しています。発生状況や症状など、詳しくは『[今週の注目感染症](#)』をご覧ください。
- 風しん**は、全国統計で 9 月 13 日～19 日の一週間に 77 名の届出があり、2012 年の累計報告数は 9 月 19 日までに 1,598 名になりました。昨年 1 年間の累積報告 (371 名) と比較して、4.3 倍になっています。地域別では、近畿地方・関東地方でひきつづき患者が増加し、愛知県を中心とした東海地方でも徐々に増加が見られます。報告数が多い地域では、職場・施設内、学校内での集団発生も報告されています。4 月から始まった流行は依然として継続しており、今後も動向に注意が必要です。岡山県では、2012 年はこれまでに 20～40 代の男性 6 名の届出がありました。([全国風しん発生動向調査国立感染症研究 HP](#)、[岡山県感染症情報センター HP](#))

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★★★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		★

【記号の説明】

前週からの推移： : 2倍以上の減少 : 1.1~2倍未満の減少 : 1.1未満の増減

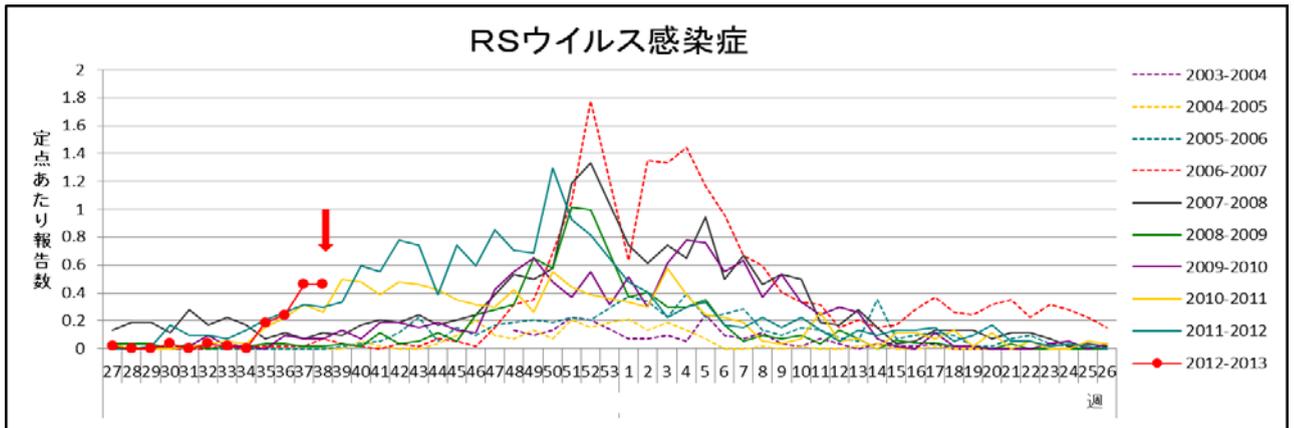
: 1.1~2倍未満の増加 : 2倍以上の増加

発生状況： 空白：発生なし ★：僅か ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

今週の注目感染症

1. RSウイルス感染症



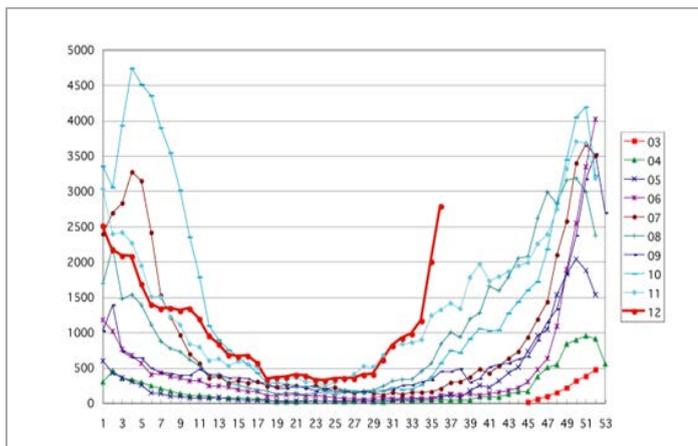
※RSウイルス感染症は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年27週～翌年26週を1シーズンとして、グラフを作成しています。

RSウイルス感染症は、前週と同数であり（定点あたり0.46 → 0.46人）、2004年の調査開始以降、この時期としては最も多い患者数で推移しています。患者は乳幼児が中心であり、2012年第27～38週における累積報告数の年齢別割合は、0歳が49%、1歳が37%、2歳が6%の順であり、0歳の発生が最も多く、1歳以下で全体の86%占めています。地域別では、岡山市（定点あたり1.21人）で患者が増加しています。

全国でも、第35、36週と急激な増加を見せており、今後の動向に一層の注意が必要です。

RSウイルス感染症は、その重篤性や合併症から、特に乳幼児において極めて注意が必要な感染症です。お子さんの体調の悪いときは、早めに医療機関を受診してください。

全国RSウイルス感染症 過去との比較グラフ 第36週
(国立感染症情報センター HP より)



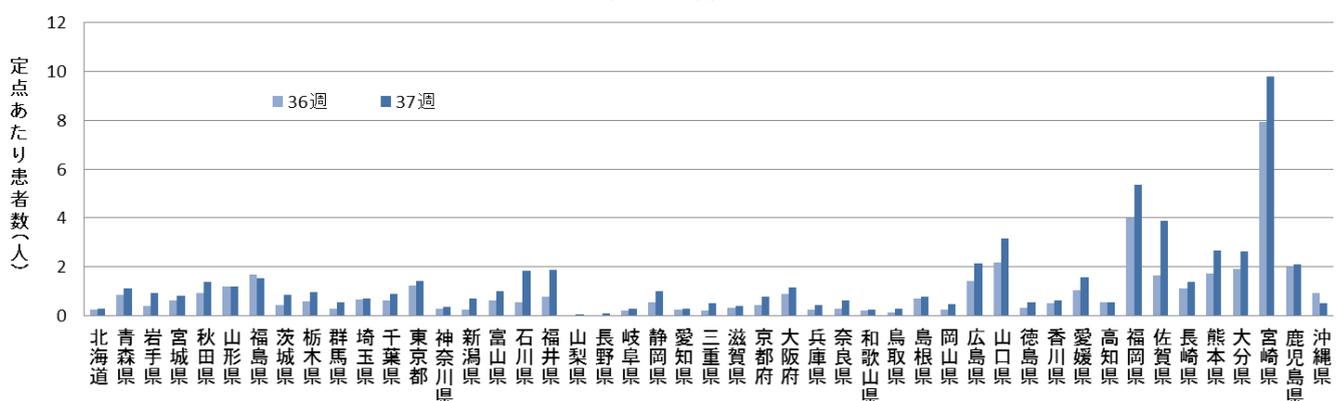
【RSウイルス感染症とは】

RSウイルスによる乳幼児の肺炎・細気管支炎などを起こす急性呼吸器感染症です。流行の中心は1歳以下の乳幼児で、乳幼児の肺炎の50%、細気管支炎の50～90%を占めるとされています。2歳までに、ほぼ100%の子供がこのウイルスの初感染を受けるといわれ、年齢を問わず、生涯にわたり感染を繰り返しますが、通常年齢が上がるにつれ、重症化することが少なくなります。

([国立感染症研究所 感染症の話「RSウイルス感染症」](#))

潜伏期は2～8日で、発熱、鼻汁、咳などで発症し、軽症の感冒様症状から、重症の細気管支炎や肺炎などの下気道疾患に至るまで様々です。通常8～15日で軽快しますが、初めてかかる乳幼児では、しばしば肺炎や細気管支炎を発症します。1歳以下、特に生後6ヶ月以下の乳幼児では、無呼吸や急性脳炎など、重篤な合併症を引き起こすことがあり、乳幼児期においては非常に注意が必要です。

RSウイルス感染症 全国発生状況



保健所別報告患者数 2012年 38週 (2012/09/17～2012/09/23)

2012年9月26日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	2	0.02	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	25	0.46	17	1.21	7	0.64	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	4	0.07	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	0.44	5	0.36	6	0.55	-	-	2	0.29	-	-	-	-	11	1.83
感染性胃腸炎	228	4.22	51	3.64	53	4.82	50	5.00	19	2.71	8	2.00	7	3.50	40	6.67
水痘	17	0.31	6	0.43	7	0.64	2	0.20	2	0.29	-	-	-	-	-	-
手足口病	4	0.07	3	0.21	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	20	0.37	12	0.86	3	0.27	4	0.40	-	-	-	-	-	-	1	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	28	0.52	8	0.57	3	0.27	5	0.50	-	-	4	1.00	-	-	8	1.33
流行性耳下腺炎	17	0.31	2	0.14	3	0.27	7	0.70	3	0.43	-	-	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	0.83	5	1.00	3	0.75	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	6	1.20	-	-	4	4.00	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 38週 (2012/09/17~2012/09/23)

2012年9月26日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	2	0.02	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	4	0.07	2	0.14	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	0.44	5	0.36	6	0.55	-	-	2	0.29	-	-	-	-	11	1.83
感染性胃腸炎	228	4.22	51	3.64	53	4.82	50	5.00	19	2.71	8	2.00	7	3.50	40	6.67
水痘	17	0.31	6	0.43	7	0.64	2	0.20	2	0.29	-	-	-	-	-	-
手足口病	4	0.07	3	0.21	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	28	0.52	8	0.57	3	0.27	5	0.50	-	-	4	1.00	-	-	8	1.33
流行性耳下腺炎	17	0.31	2	0.14	3	0.27	7	0.70	3	0.43	-	-	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	0.83	5	1.00	3	0.75	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第38週 2012/09/17~2012/09/23)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	25	4	6	11	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	4	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	-	-	1	1	2	5	2	5	1	-	-	6	-	1
感染性胃腸炎	228	2	19	43	16	18	16	15	14	12	9	11	29	7	17
水痘	17	-	-	3	4	-	5	3	1	-	-	1	-	-	-
手足口病	4	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	20	1	14	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	28	-	3	7	5	5	1	3	4	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	17	-	-	-	2	3	1	4	4	-	2	-	-	1	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	1	2	1

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	6	-	3	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

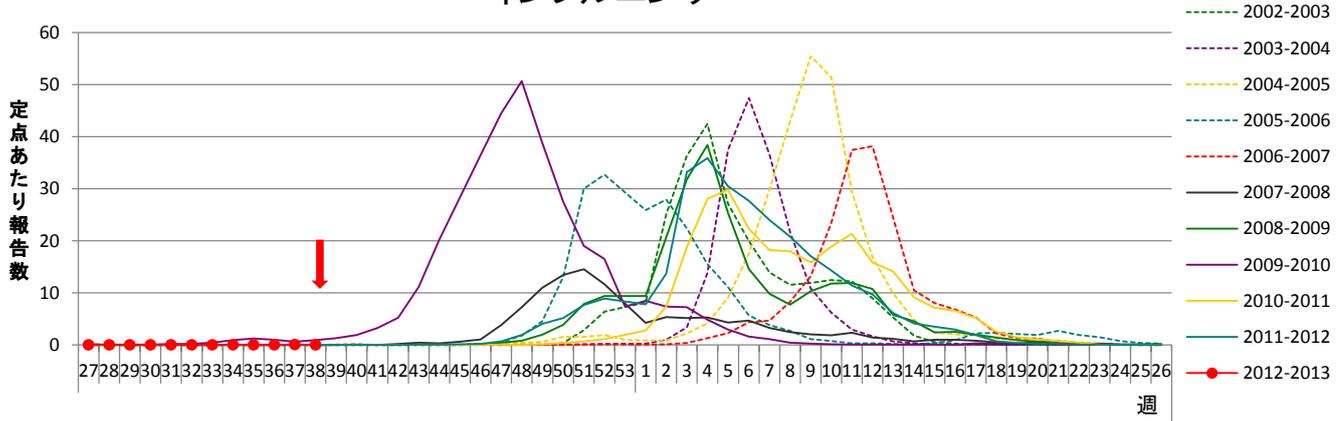
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

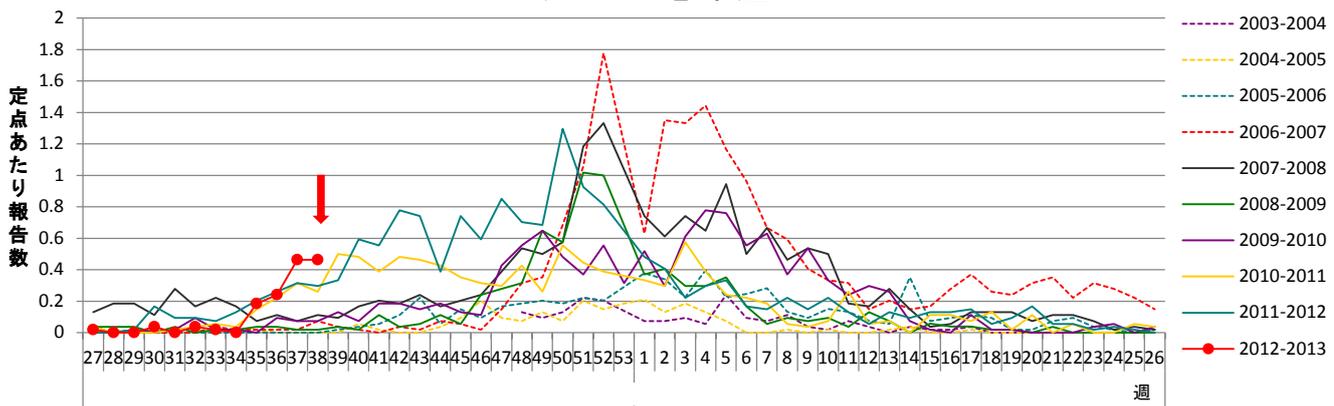
2012年 38週

分類	疾病名	2012			疾病名	2012			疾病名	2012		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	326	557	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	4	146	67
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	2	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	3	デング熱	-	1	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	20	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	10	11	ウイルス性肝炎*3	-	5	9	急性脳炎*4	-	1
クリプトスポリジウム症		-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
後天性免疫不全症候群		-	14	15	ジアルジア症	-	1	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
先天性風しん症候群		-	-	-	梅毒	-	5	9	破傷風	-	1	3
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	2	-	風しん	-	6	1
麻しん		-	6	4		-	-	-		-	-	-

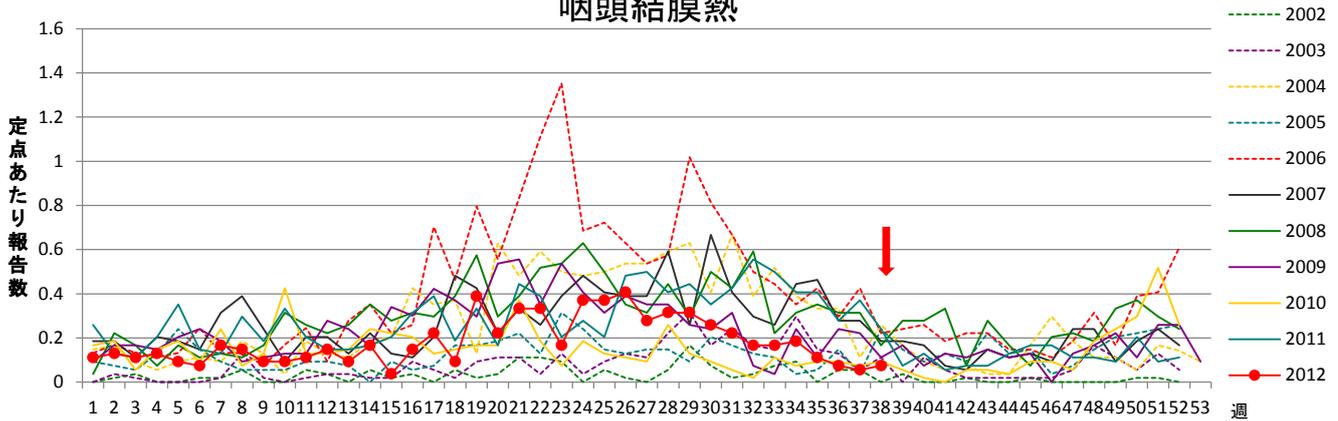
インフルエンザ



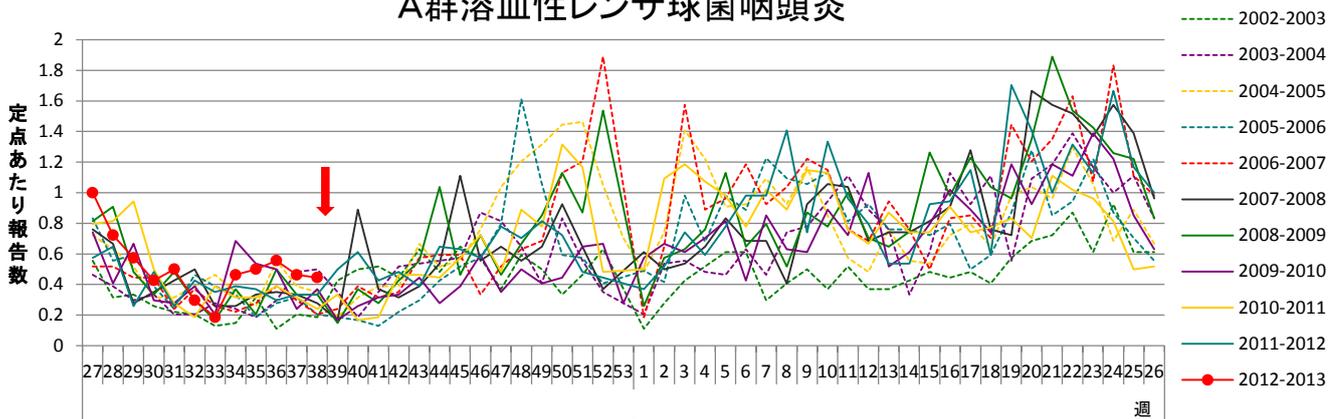
RSウイルス感染症



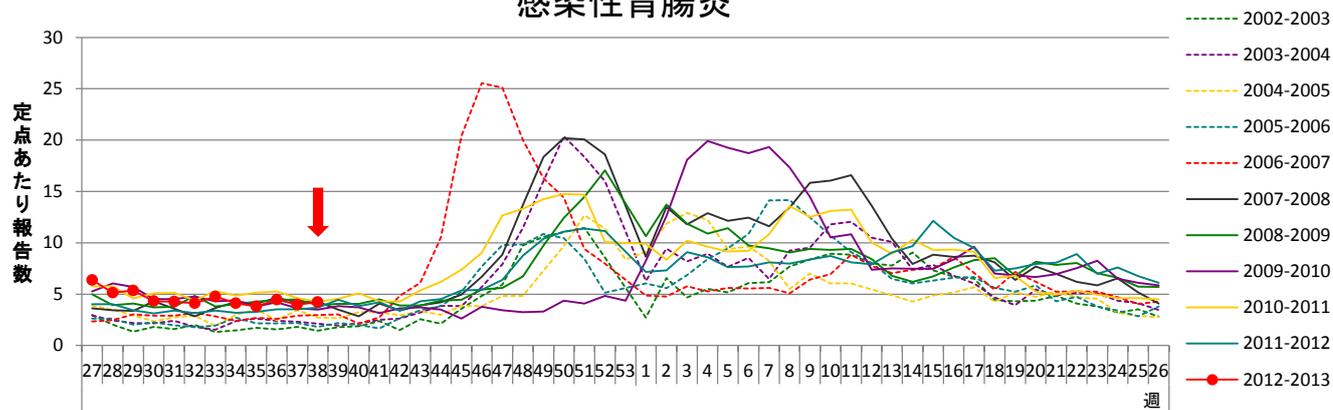
咽頭結膜熱



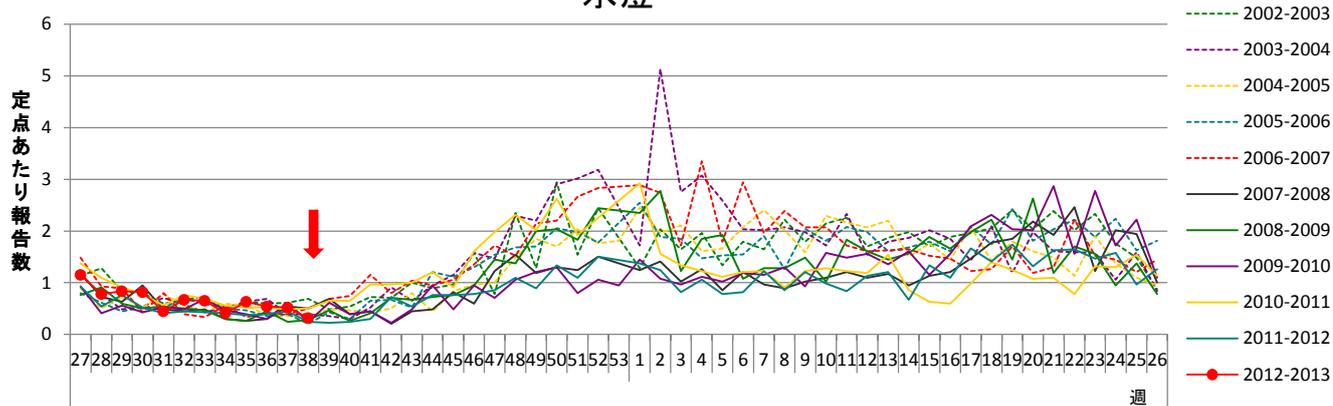
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



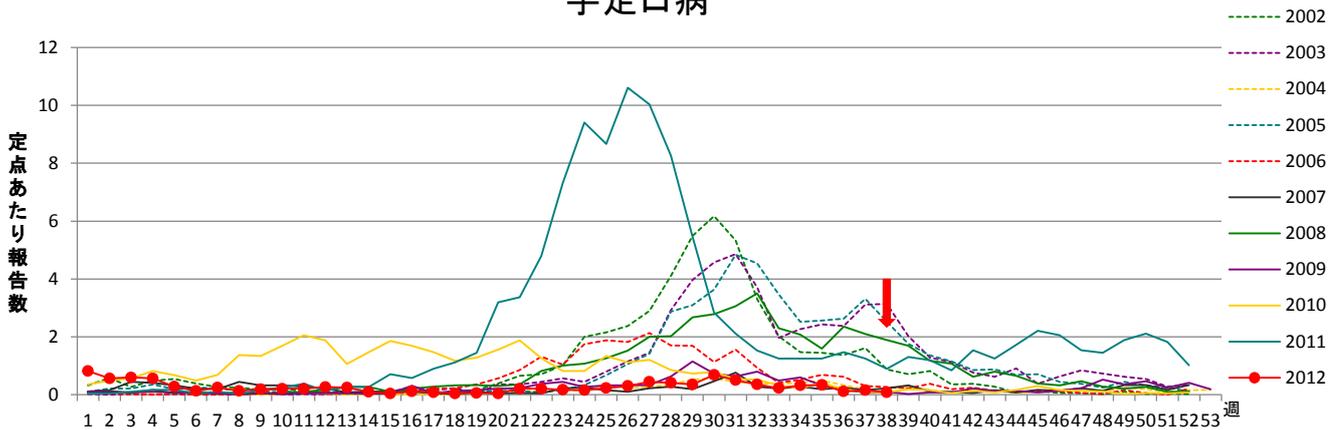
感染性胃腸炎



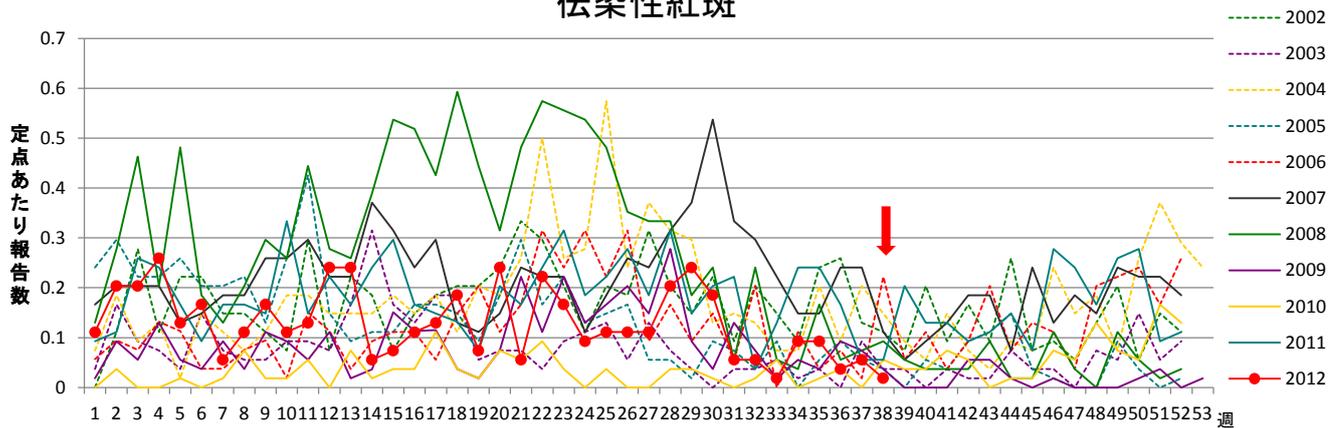
水痘



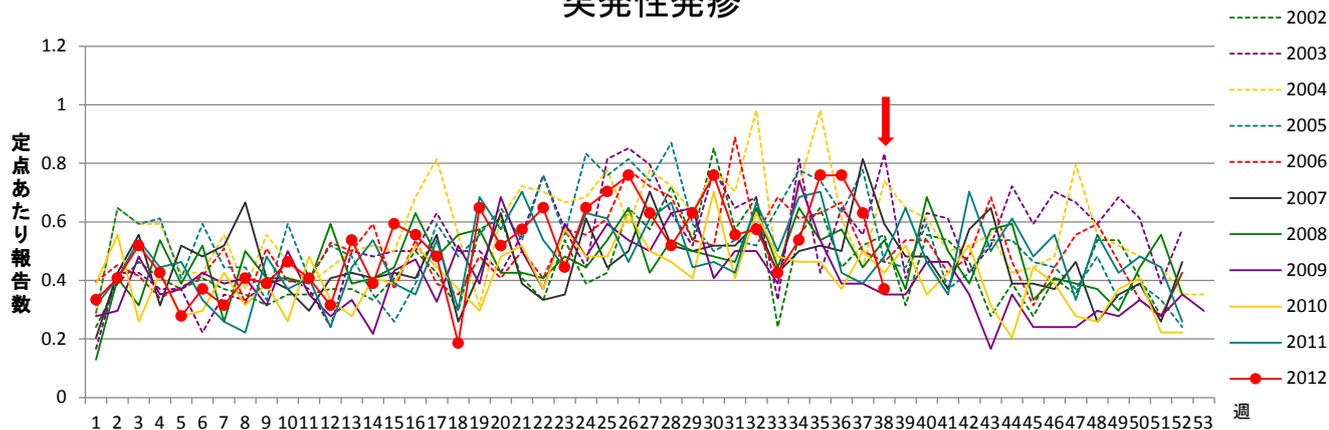
手足口病



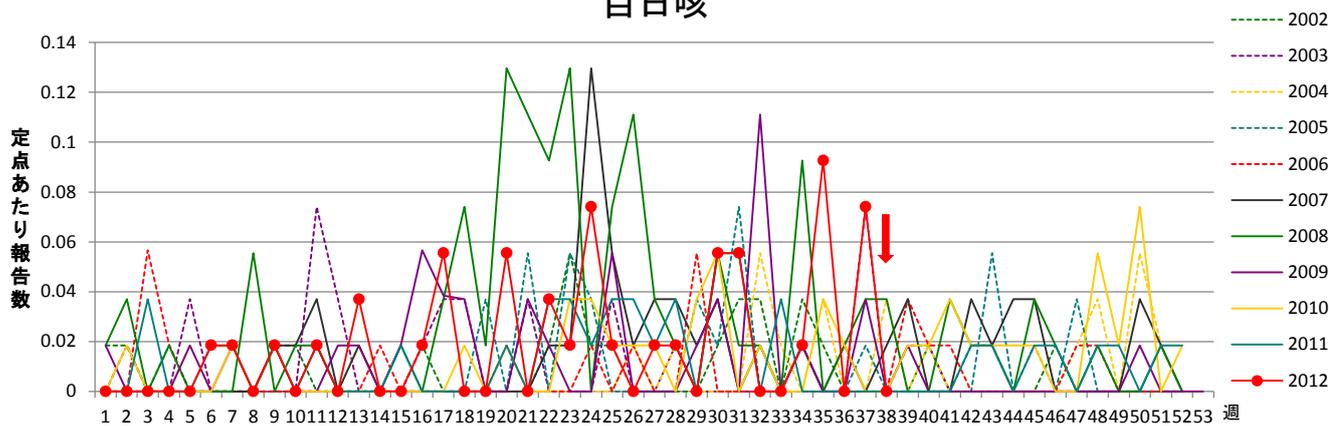
伝染性紅斑



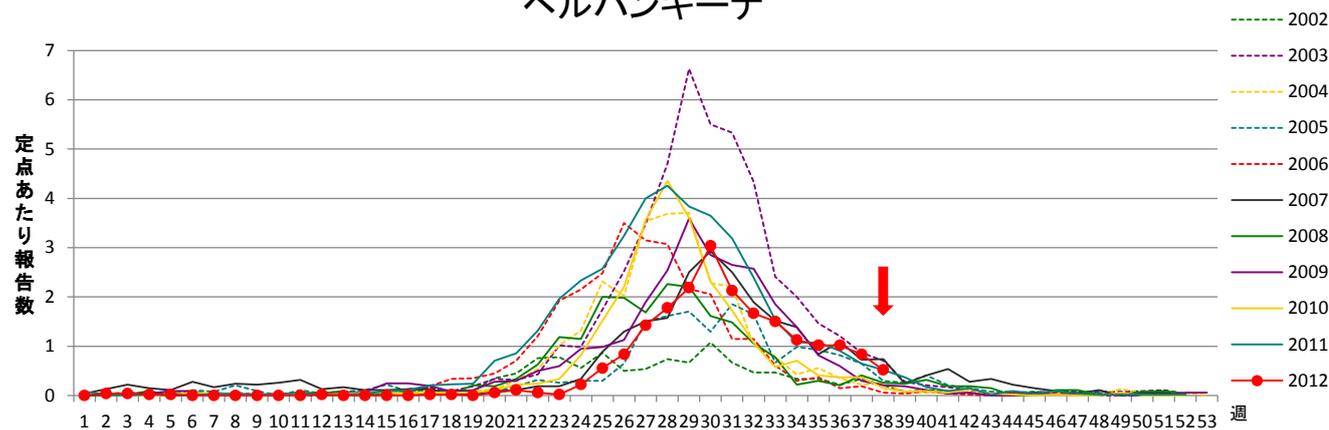
突発性発疹



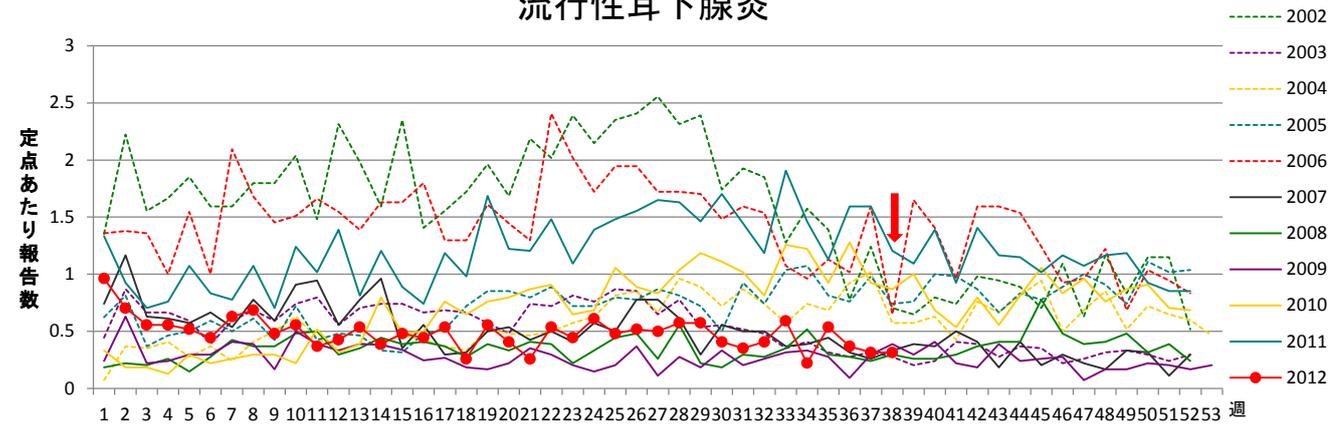
百日咳



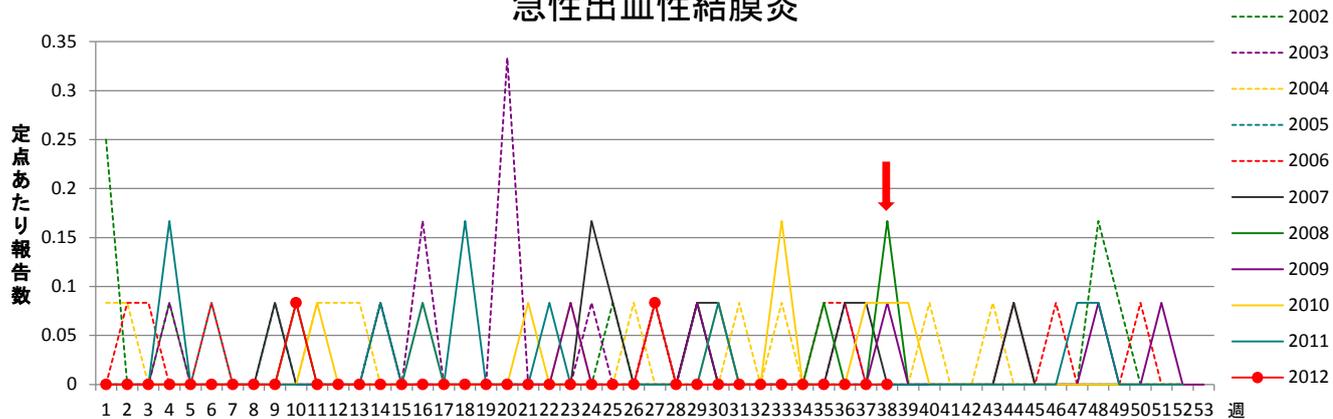
ヘルパンギーナ



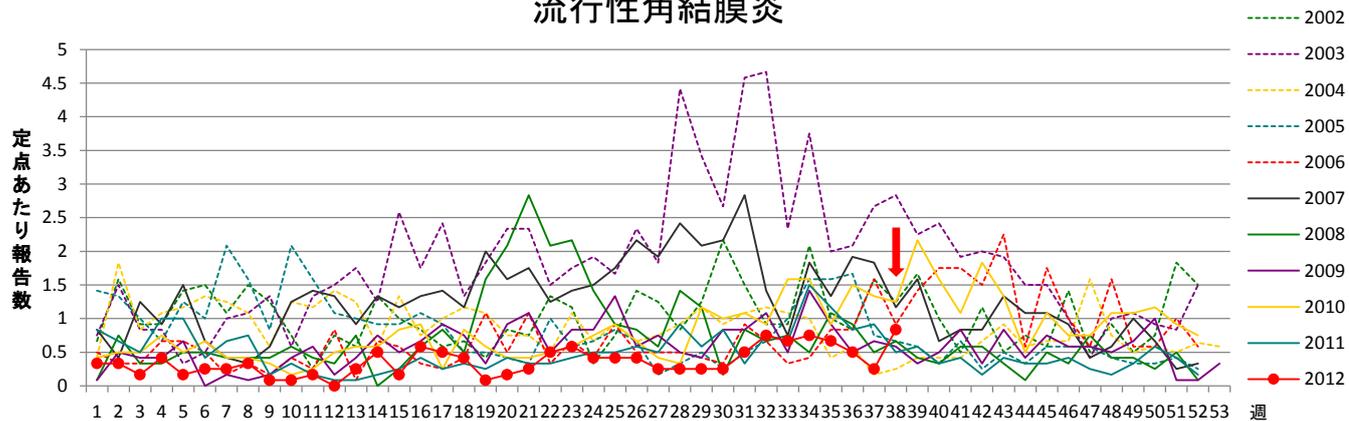
流行性耳下腺炎



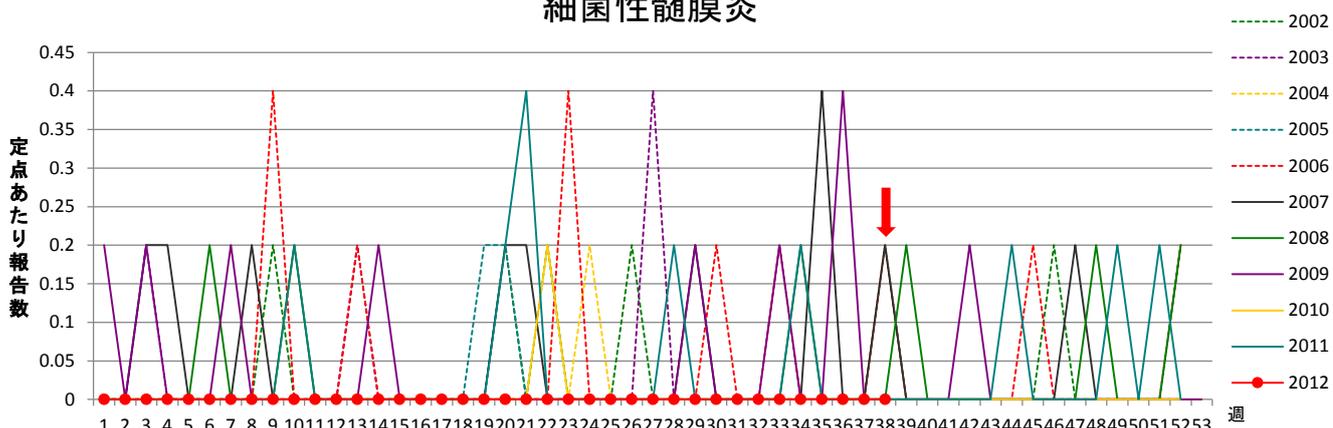
急性出血性結膜炎



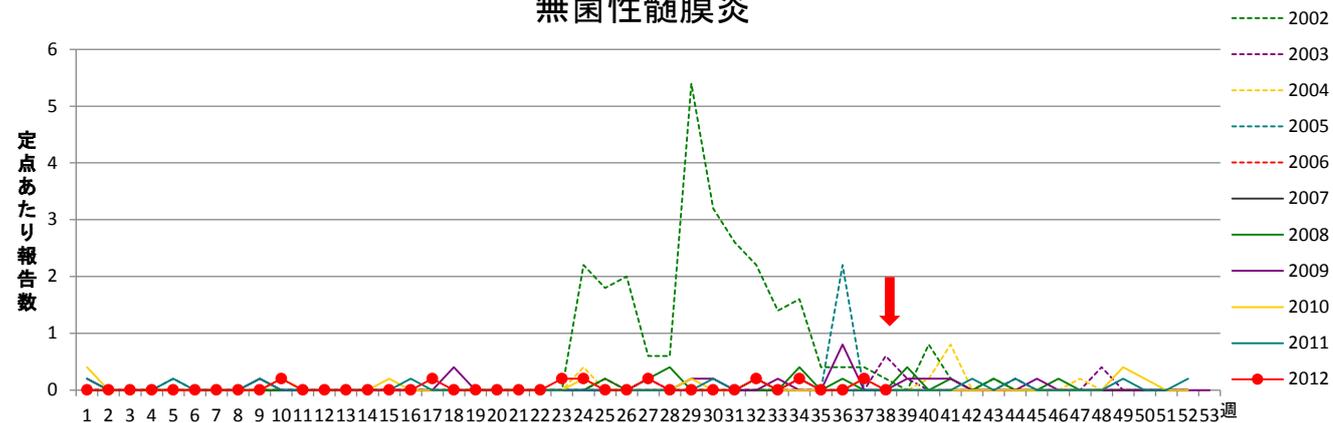
流行性角結膜炎



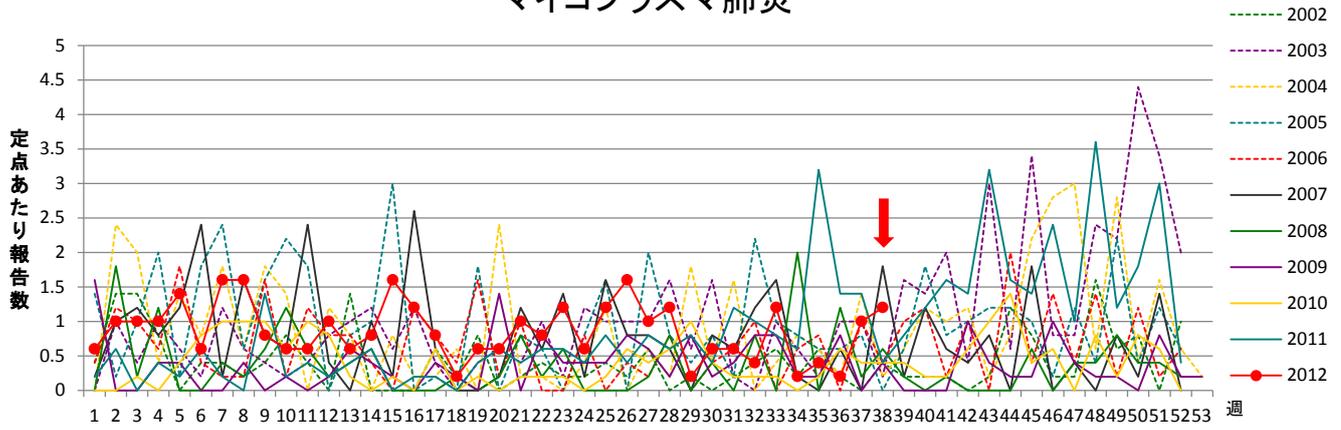
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

